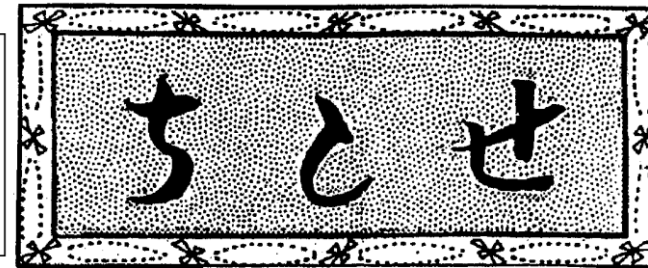


船橋まちづくりセンター
管内の人口・世帯数
(6月1日現在)
人口: 37,676人
世帯数: 17,599世帯
(面積: 1.873km²)

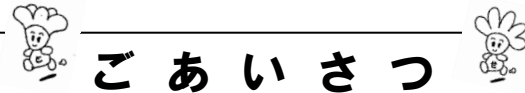
発行・編集 ミニコミ編集委員会
責任者 古我照彦
事務局 船橋まちづくりセンター
電話 3482-0341
2016. 6 No.105号

まちの目が
安全・安心を守っています

船橋地区町会・自治会連合会
船橋地区身近なまちづくり協議会
青少年船橋地区委員会/成城警察署/成城防犯協会



「多世代が交流する
笑顔あふれるまちへ」



地域で育つ子どもたち 船橋希望中学校 校長 加藤敏久

素直で明るい生徒・地域の子どもの教育に関心の高い保護者や地域の皆さんと接しながら、ますます素晴らしい学校になる可能性を感じたいへん嬉しい気持ちです。「校舎にふさわしい、世田谷をリードする高い品質の教育」を校長としてのテーマと考え、進めてまいります。

これからの社会では、他の人と心を通わせ、楽しいことや辛いことを分かち合い、多様な考え・価値観を寛容に受け入れる柔らかな心が大切です。そのような子どもたちを育てる場は、体験の宝庫である地域だと思っております。

たいへん活気ある地域の中の学校として地域と調和し、生徒たちが地域の皆さんと関わりつつ成長していくのを、楽しみにしております。



自立・協働ができる子どもに育てる 船橋小学校 校長 新村 出

はじめまして。4月に着任しました新村出(にいむらいづる)です。前任校は、世田谷区立東玉川小学校です。

本校の教育目標にある「自分を高める船橋の子」「ともに学ぶ船橋の子」は自律・協働ができる子どもに育てたいという願いであり、目標です。「ことばを大切に」「地域を愛する」ことはそのベースになります。この地域を愛するところから、世界にはばたく子どもたちを育てていきたいと思っております。

子どもは、家庭だけでも、学校だけでも育ちません。地域の皆様のお力添えを賜り、地域の子どもたちがよりよく成長していくことができますよう、よろしくお願い申し上げます。



会長就任にあたって フレール西経堂自治会 会長 綱木雅敏

本年4月、自治会の役員改選により会長に就任いたしました。前会長の駒井澄子さんは地域のために貢献されてきた大先輩であり、新会長としては、やや見劣りがするのは否めないところですが、微力ながら力を尽くして参りますので、よろしくお願い申し上げます。

今年は、フレール西経堂自治会の設立55周年にあたります。世の中が大きく変化していくなか、当自治会は、安全安心な団地をめざし、防災・防犯活動、高齢者の見守り、住環境の整備、子どもたちのための空間づくりに努めて参りました。毎月第4日曜日、小さな「バザール」を、団地集会所の前庭で開催しています。ぜひお立ち寄りください。当自治会の持つ「雰囲気」を体感いただけるものと考えております。



**日本中に自慢したい!
このまちの地域活動
「子どもふんか村」**

今年で設立13年目を迎えた「子どもふんか村」。活動を支える地域のおとなたちの声を聞きました。



音楽くらぶ (ジュニアコーラス)

子どもふんか村データ

講師	約30人
子ども	約280人
スタッフ	約60人
活動日数	のべ295日/年
会費	年額500~8000円 (くらぶによる)

3月の発表会に向けて、毎月稽古しています。本番では講師の先生を中心に、ひとつのチームになって、その子たちにしかできない最高の作品をつくりあげてしまいます。その成長過程を見られること、作品が完成した瞬間に立ち会えること。それが何よりの喜びです。
(演劇くらぶ担当 宮内倫子さん)



誰かのちょっとした一言で見方が変わったり、踏み出す勇気が出たり、誰かにちょっと話すだけで気が楽になったり、話はなくても「こんなところにも仲間がいる」と温かさを感じるだけでも悪くないのでは。おせっかいオバサンたちも、微力だけど子どもたちの心の成長を応援したいと思っています。
(伝統くらぶかるた会担当 佐藤敬子さん)



伝統くらぶ (茶道)

Q: 子どもふんか村って?
A: 青少年船橋地区委員が中心となって運営する子どものための文化クラブ。「自分のことが好きになって、仲間のことが好きになって、住んでいるまちが好きになって、子ども同士おとな同士、子どもとおとなが繋がっていく、私たちはそんなまちづくりをめざしています」がテーマです。

Q: だれでも参加できるの?
A: 船橋まちづくりセンター管内の小中高校生を中心に、だれでも参加できます。

Q: 「村」はどこにあるの?
A: 事務局は船橋まちづくりセンターです。活動場所は船橋希望中学校、船橋小学校、千歳台小学校、希望丘小学校、大東学園高校の教室などです。

Q: どんなくらぶがあるの?
A: 音楽くらぶ (ジュニアオーケストラ、ジュニアコーラス)、伝統くらぶ (いけ花、茶道、かるた会)、演劇くらぶ、科学くらぶ、ものづくりくらぶ、ボランティアくらぶがあります。

Q: 活動を見ることはできるの?
A: 子どもふんか村発表会 (3月)、音楽くらぶコンサート (12月)、船橋ふれあいまつり (11月) の子ども喫茶などでご覧いただけます。ふだんの活動の見学は事務局にお申し込みください。活動の日程等は、「子どもふんか村だより」でお知らせしています。(各学校で配布。まちづくりセンターにもあります。)

学校では習わない範囲のことまでよく知っている子がいて、話が盛り上がりました。講師である私のことはいつか忘れてしまうかもしれないけれど、そんな話をたくさんできるおとなと出会ったことは、その子の心に残ると思う。そういう出会いが大事なんじゃないかな。
(科学くらぶ講師 大東学園校長 金子広志先生)



中学校の校外委員で「子どもふんか村担当」になりお手伝いしています。親と違う目線で子どもたちを見るっていいですね。何より子どもと仲良くなれることが楽しいです。
(科学くらぶ担当 岡田亜手子さん)



はじめは子どもの保護者として、今は打楽器の講師として子どもたちと関わっています。子どもがもともと持っている元気のよさを、音楽で表現できるようにお手伝いしたいと思っています。
(音楽くらぶ講師 打楽器奏者 長野兼治先生)



活動の見学、体験、協力、支援などのお問い合わせは、船橋まちづくりセンター (電話3482-0341) まで

